国道435号吉敷バイパスの開通で生活圏の拡大

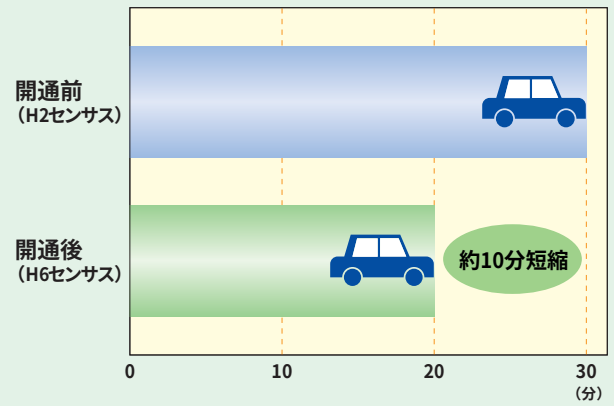
開通前、過疎化が進んでいた美東町

- 美東町は、山口・防府地域広域生活圏に属していた。
- 広域生活圏計画では、憩いの場の提供、住宅団地など定住の場としての役割が期待されていた。
- 町の過疎化が進んでおり、望まれていた定住人口の増加。

開通により、町の人口が増加

- 深刻な過疎化に悩む美東町から、中心都市である山口市への交通時間が短縮されたことにより、山口市のベットタウンとして転入者が増加。
- とくに道路整備が進み、山口市への通勤圏が拡大されたための増加が顕著。

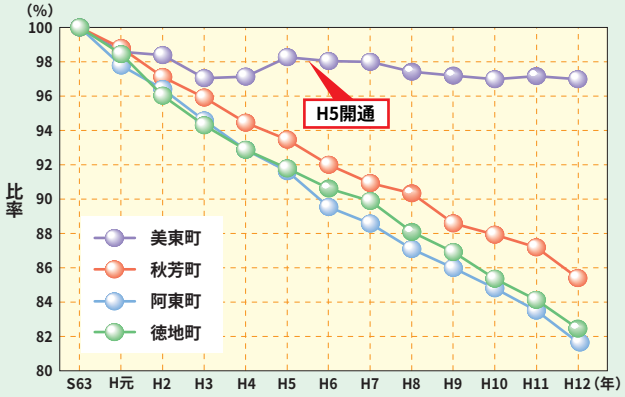
●開通前後の走行時間（山口市吉敷～美東町綾木）比較



資料／道路交通センサス

●4町の中で唯一、急速な過疎化に歯止め

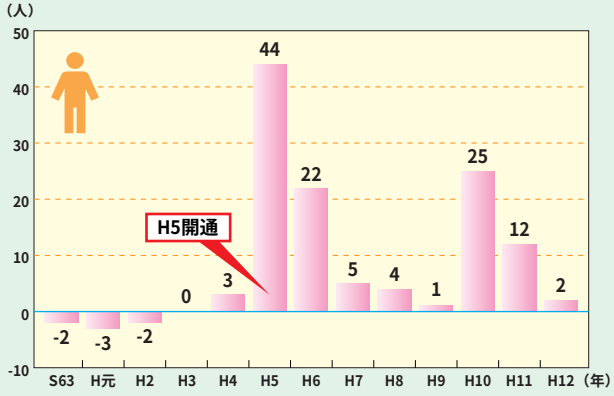
広域生活圏内の各過疎地域における人口伸び率（昭和60年を100としての比較）



資料／山口県人口移動統計調査報告書より

●通勤圏が広がり転入者が増加

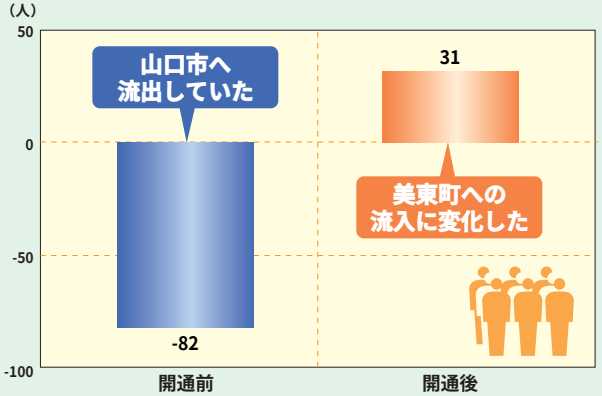
美東町の通勤などによる（転入・転出）状況



資料／山口県人口移動統計調査報告書より

●山口市から美東町への転入者が増加

美東町と山口市の人口移動（開通前後5年間の比較）



資料／山口県人口移動統計調査報告書より